

令和4年度年度事業報告書  
(令和4年7月1日から令和5年6月30日まで)

特定非営利活動法人エル・コミュニティ

1 事業の成果

鯖江市の提案型市民主役事業化制度により受託している鯖江市地域活性化プランコンテストは、第15回目を3年ぶりに現地鯖江に集まって開催することができた。高校生版も継続して開催。事業化した前年の高校生版で提案された「お寺で国際交流 交流寺」は、提案した高校生が学生団体 with に所属していたこともあり、学生団体 with が主体的に運営し自らプランを実現させた。

Hana 道場で実施している IchigoJam でのプログラミングスクールは通う子たちが増え、月曜～木曜と、隔週土曜に実施している。また、IchigoJam をマスターした小中学生向けに、JavaScript の教材を作りプログラミングスクールの時間に教えることで、継続してプログラミングを学ぶ子が増えてきた。

鯖江市内の小中学校で実施しているプログラミングクラブは、感染拡大時に休校や学級閉鎖により回数が減ったが、継続して講師の方々にプログラミングクラブ、総合学習のプログラミング時間に行っていただいている。また令和5年度より鯖江市内の小学5年生対象とした総合学習でのプログラミング教育が実証実験として開始することを受けて、教える人材の育成として大人向けの講師育成講座を再開した。7名の方が新たに Hana 道場の講師認定を受け、順次学校へ派遣しクラブ活動で子どもたちにプログラミングを教えて貰っている。既存講師の方々も検定を継続して受験するなど教える立場の大人も常に勉強しレベルアップしている。

サイバーセキュリティ教育プログラム「CyberSakura」は、第2回を開催。全国19チーム66人が参加し、予選ラウンド上位6チームが決勝ラウンドに進出した。決勝ラウンドは鯖江のサバエシティホテルで開催した。優勝は第1回で準優勝だった、武蔵高等学校中学校(東京)。リベンジを果たす形で幕を閉じた。第1回より参加チーム、人数は減ったが競技としてのレベルは格段に上がり、決勝ラウンドも見応えのあるものとなった。

新たに事業化した企業研修の受け入れを行っていく「オープン SABAE」は、早速東京の大手企業が鯖江で研修を実施し、これまで培ってきた鯖江市地域活性化プランコンテストや IT コンテンツが研修につながった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数
若者が提案する地域活性化のための企画の支援事業	鯖江市地域活性化プランコンテスト	7/1～3/30	鯖江市	3人	市内外 200人
地域力向上を目的とした地域ブランドの創出支援事業	プログラミングスクール Hana 道場 ブランド推進事業 IT 推進 Hana 工房 CyberSakura さばぷら オープン SABAE	通年	鯖江市	5人	市内外 300人
若者を対象とした地域活動への参加促進事業	学生団体 with サポート	通年	鯖江市	3人	市内外 30人

(2) その他の事業

該当なし

3 理事会および総会に関する事項

理事会 総会	実施日時	実施場所	出席者数	議決事項
総会	令和5年6月23日	鯖江市.Hana 道場 オンラインと併用	6人	令和4年度事業計画・予算の件 新事業について